

年 組 名前:

問1

無人の走行車で肥料散布を
実演しました。
この取り組みの目的を答えて
ください。

.....
.....
.....
.....
.....

問2

走行車は、どのような仕組みに
なっていますか。

.....
.....
.....
.....
.....

問3

あなたは、IT を活用した「スマート農業」が、どのようになることを期待しますか。

.....
.....
.....

無人走行車で肥料散布

甲府市 スマート農業普及図る



甲府市は24日、市桜井町のブドウ畑で農業用無人走行車を使った液体肥料の散布を実演した。農家の高齢化や担い手不足が問題となる中、省力化につながる機械の実用性を

農家らに周知し、ITを活用したスマート農業の普及を図る。無人走行車の販売を手掛けるアセラ(同市)が協力して実施した。走行車はスマート

フォンのアプリに走行ルートや速度、散布量、噴射口の角度などを登録すると、自動で走り肥料や農薬などを散布する仕組み。実演ではアセラの担当者が走行車を動かし、葉



液体肥料を散布する農業用の無人走行車 一甲府市桜井町

の光合成を促す液体肥料を散布した。
地元農家やJA関係者ら約40人が見学。甲府地区の農業委員でブドウ農家の小松芳彦さん(69)は「想像以上に正確に動いていた。無人でできれば、作業しながら顔に農薬がかかるようなこともないと思うので、普及するように期待したい」と話していた。
本年度は玉諸、中道地区などでも無人走行車やドローンによる散布を行う予定。市就農支援課の担当者は「実際に機械が動いているところを見て、スマート農業を身近に感じてもらいたい」と話した。

〈杉原みずき〉

(2023年5月25日付 山梨日日新聞19面)